

✦ 自分史用の写真をデジタル化しましょう

ホットアルバムで自分史を作ってみませんか？

これまでの長い人生を振り返り、懐かしい思い出のある写真と音楽を入れ、現在に至るまでの写真を1つのアルバムにまとめます。

ご自身の足跡を辿り、当時へ思いを馳せるのも素敵な時間の過ごし方ですよ。

作成したアルバムはDVDに保管して、子供、孫…そして、その先の未来へと遺すことができます。

📷 古い写真をデジタル化

殆どの昔懐かしい家族の写真や、ご自身の写真は、フィルム
のアルバムに貼り付けられています。

自分史や家族史を作成する際は、このフィルムのアルバムに
入っている写真を、デジタル化する必要があります。



デジカメ写真は、印画紙に印刷されている写真と違いデジタル

データのため、パソコンで扱う事ができるのです。ホットアルバムで取り込める写真も全てデジタルデータです。

デジタル化にするには、写真を取り込めるスキャナーが必要になります。

✓**スキャナーとは**: Scanする(スキャン=読み取る)機械。印刷物やフィルムなどを画像としてパソコンに送る(取り込む)機械の事です。

最近では、プリンターと一緒にになった複合機が主流で、安価な物も多く揃っています。

では、スキャナーがあると、どんな事ができるのでしょうか？

例えば、昔のフィルムに貼り付けてあるアルバムの写真やネガフィルム、子供の小さい時に書いた絵や手紙、赤ちゃんの時の手形や足形、旅先のチケットやパンフレット。様々な物がデジタル化する事で未来に遺しやすくなります。

印刷物や紙に書かれて物、ネガフィルム、全ての物は時間とともに劣化してしまいます。

色が褪せてくるのは、用紙、インク、保管場所により異なりますが、懐かしい写真は確実に色褪せているはずで
す。

スキャナーは、写真を守る(未来へ遺す)身近な機械として私たちに数多くの楽しみを与えてくれます。

スキャナーで取り込んだ写真を、ホットアルバムで色補正し自分史アルバムを作成してみましょう！

次のページから実際にフィルムアルバムから写真を取り込み、ホットアルバムで自分史を作る手順をご紹介します。

■ スキャナーで写真の取り込みましょう

写真をデジタルデータにするには、写真をスキャナーで読み込む必要があります。

※スキャナーがない環境の際は、デジカメで接写することでスキャナーの代替えになります。

また、お持ちの複合機のスキャナー機能には、スキャンしたデータをそのままメモリーカードなどに保存出来る物もありますので、お使いの複合機マニュアルをご確認ください。

▶ 写真の取り込み(スキャニング)の手順

ここでは、EPSON 製の複合機を使用し、パソコン操作では【EPSON Scan】で取り込みする方法をご説明します。メーカーによって若干の違いはありますが、操作自体は各社同じ様な取り込み方法になります。

✓**スキャニングとは:**スキャナーを用いて写真や文書などの原稿を読み取り、デジタルの画像データに変換する行為のこと。

1:スキャナーのカバー(ふた)を上げ、ガラス面に写真印刷面を下にしてセットします。スキャナーのカバーを下します。これでセットは完了です。

※写真だけがある場合も同様の手順です。また、複数の写真を一度に取り込みたいときは、写真と写真の間を少しあけて配置します。



スキャナーの電源を入れます。
上カバーを開けます。



※ここでは複合機でご説明します

ガラス面に取り込みたい写真を
配置します。
印刷面は下になるようにします。



昔の写真を取り込む際の注意点

昔のフィルムに貼られたアルバムや、台紙に貼ってある写真などは、スキャナーのガラス面と写真の間に隙間が生じます。その隙間は出来るだけ無くすように取り込みをしないと、隙間により呆けた写真になってしまいます。



▶ **台紙に貼ってある場合は**、台紙から外されて取り込みされた方がより鮮明に取り込めますが、台紙から剥がす際に、無理に剥がしてしまうと写真を傷付ける可能性があります。極力剥がさないで取り込みするか、またはデジカメでマクロ撮影モードにして接写をする事で代替になります。

▶ **アルバムの写真にゴミなどが酷い場合は**、写真の上から被せてある薄い透明フィルムをドライヤーで温めたら、ゆっくりと端から透明フィルムを剥がします。

(そこから剥がす事も方法もありますが、無理に行って写真を破いてしまう可能性もありますので、ここではそのまま作業を行います)

写真の表面を濡れた柔らかい布で、無理のない様に優しく丁寧に拭き取ります。(ゴミが固定化されてしまっている物は落とす事ができません) 拭き取ったら風通しの良い日陰で乾かします。



✓出来るだけ隙間を無くす取り込み方法

パソコンのすぐ横にスキャナーがある場合は、写真をセットし、カバーを下ろしたら、手で上から強めに押さえながらパソコン処理を行います。押さえ続ける必要があるのは、パソコンのスキャナー取り込みソフトで、プレビューボタンを押し写真が読み込まれるまでの間です。



また、手で押さえられない場合は、重たい物をスキャナーカバーの上に置きます。出来るだけ重たい物の方が押さえつける力は強いですが、ケガのないよう十分に注意して行ってください。

一番良いのは重い本などを数冊置き、その上から手で強く抑える方法です。



また、絹目写真は絹目のプリントはベースとなっている紙のエンボス加工の為、スキャニングすると絹目部分にスキャナーの光が反射し、凹凸が目立ってしまいます。

これを完全に消す事はできませんが、多少軽減させる事はできます。

◆ スキャニングの際にできる事

- 1) 汚れを取りきった写真の表面にワセリンを均等に丁寧に塗ります。
- 2) 塗った表面に透明フィルムを、気泡やゴミが入らない様に被せます。
- 3) 塗りムラをなくします。指で軽く伸ばしながら気泡も一緒に取り除きます。

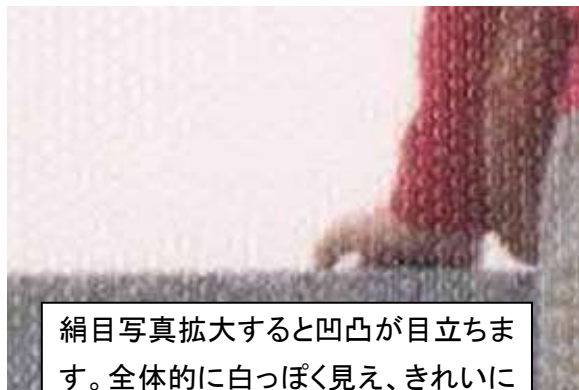
※ワセリンは塗りすぎると写真の裏にワセリンがにじみ、しみになることがございます。ご注意ください。

- 4) スキャニングします。
- 5) 取り込み終わったら、写真から透明フィルムを剥がし、丁寧に柔らかいティッシュでワセリンをふき取ります。

※この方法は写真によって効果が違います。これで完全に凹凸が消える訳ではありません。

◆ Photoshop をお持ちの方は、

Photoshop のフィルタ「ダスト&スクラッチ」をかける。絹目のテクスチャがなくなる値を探す。最後に「アンシャープマスク」をかけると軽減されます。



絹目写真拡大すると凹凸が目立ちます。全体的に白っぽく見え、きれいにデータ化する事が出来ません。

2: 写真のセットが完了出来たら、パソコン操作に移ります。

通常スキャナーをご購入するとそのスキャナー専用の取り込みソフトとマニュアルが付属されています。詳細な取り込み方法は各メーカーのマニュアルをご参照ください。

ここでは、例としてエプソンの EPSON Scan ソフトを使用しご説明しますが、メーカーは違っても基本的な操作手順に大きな違いはありません。

①: スキャナーの電源を入れ

②: 写真をセット

↑↑ここまでは前のページ内容です。↑↑

③: パソコンの取り込み用ソフトを起動

④: 原稿種類を設定(プリント写真、新聞、ネガなど)

⑤: プレビューボタンを押し詳細設定(用紙の設定や解像度など)

⑥: 設定が終わったら【スキャン】して保存します。

③: お使いの取り込み用ソフトを起動します。

※取り込み用ソフトは、各メーカーのスキャナーにより異なります。

(ここでは一番シンプルな方法で基本的な設定のみをご説明致します。)



④: 起動したら、原稿種類を設定します。

「プリント写真」や「写真(カラー)」などを選択します。

⑤-1: プレビューボタンを押します。

その際、チェック項目があれば「サムネイル表示」に✓チェックを入れておきます。



サムネイル表示では写真を個別に判断し、取り込む範囲を設定する事なく写真の取り込みができます。

取り込みたい写真にチェックを入れます。

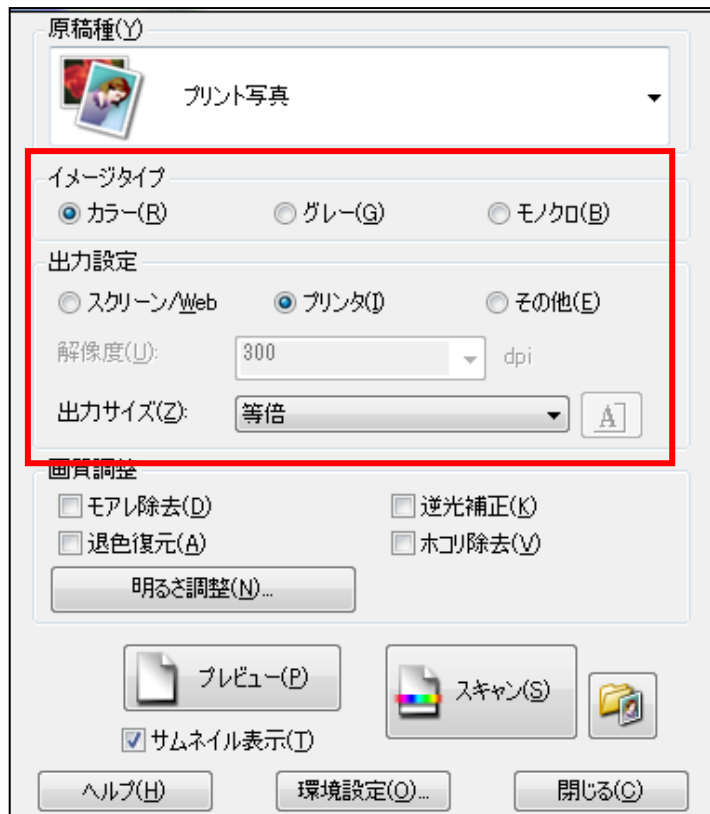


サムネイル表示が無い場合は、読み込まれた写真の選択範囲を設定します。

取り込み方法は10ページへ

⑤-2:【プレビュー】ボタンを押したら、次はイメージタイプや出力設定を行います。

※用語はメーカー毎に異なります。



◆イメージタイプ:カラー写真はカラーを、モノクロ写真はモノクロを選びます。

◆出力設定:ここでは用途に応じた設定を行います。パソコンの中だけで使用するのか、プリントを前提にするのか、写真データとして保存する前提かにより、解像度や出力サイズが異なって来ます。

・**スクリーン/Web**:はパソコン上だけの使用を前提としています。解像度は 96dpi で固定されています。ホームページやブログでの使用目的です。

・**プリンター**:お持ちのプリンターで出力するのを前提に取り込みます。解像度は 300dpi と固定されます。出力サイズは出力したい用紙サイズに合わせても構いませんが、比率によっては天地が削られる場合もあります。元の写真サイズに対し、サイズによっては同じ比率ではないためです。殆どの場合、「等倍」を選択しておきます。

その他:解像度が設定出来ます。

▶ 解像度に関して

スキャンされた画像は、すべて点(ドット)の集まりで構成されています。この点が多ければ多いほどきめ細かい表現が可能になり、解像度が高いこととなりますが容量が重くなるデメリットもあります。

●原稿サイズが2L版で取り込んだ場合の目安は、以下のようになります。

解像度	容量/サイズ	
300	容量:約 335 KB	サイズ:約 1,182 × 1,734
400	容量:約 559 KB	サイズ:約 1,576 × 2,312
500	容量:約 762 KB	サイズ:約 1,970 × 2,890

写真が沢山ある場合は、容量配分を考慮し解像度を設定してください。

用途にもよりますが、通常等倍出力の場合は、400～500dpi の間で問題ないでしょう。(圧縮率は高)

※少ない枚数の場合は、もう少し高い解像度でも構いません。容量があまり大きいとパソコンがいっぱいになってしまいますので、数十枚単位で高解像度取り込みの場合は、外部ハードディスクやメモリースティックなどに保存されると良いでしょう。

⑤-3:出力設定が完了したら、次は画質調整を行います。

モアレ除去:印刷物(雑誌、カタログなど)のスキャンで発生する、モアレパターンの発生を抑えることができます。モアレとは、網目状に発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。

通常は、原稿種に合わせて自動的にチェックされます。

退色復元(対応機種のみ):色褪せ、変色した古い写真やフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンします。

逆光補正:

逆光(光が後ろから当たっている状態)で影の部分が暗いようなとき、自動的に影の部分が明るくなるように補正してスキャンします。プレビューした後に逆光補正機能を使用してください。

ホコリ除去:画像上のホコリを取り除いて画像をスキャンします。ただし、大きなホコリは除去できません。写真に付着したゴミを削除します。ただしぼやけてしまう原因にもなりますので、写真の状況によって判断してください。判断つかない場合は、ホコリ除去「適用」と「なし」でスキヤニングし見比べてください)→次のページにサンプルがあります。

【明るさ調整】:写真自体の明るさや、コントラストを調整します。

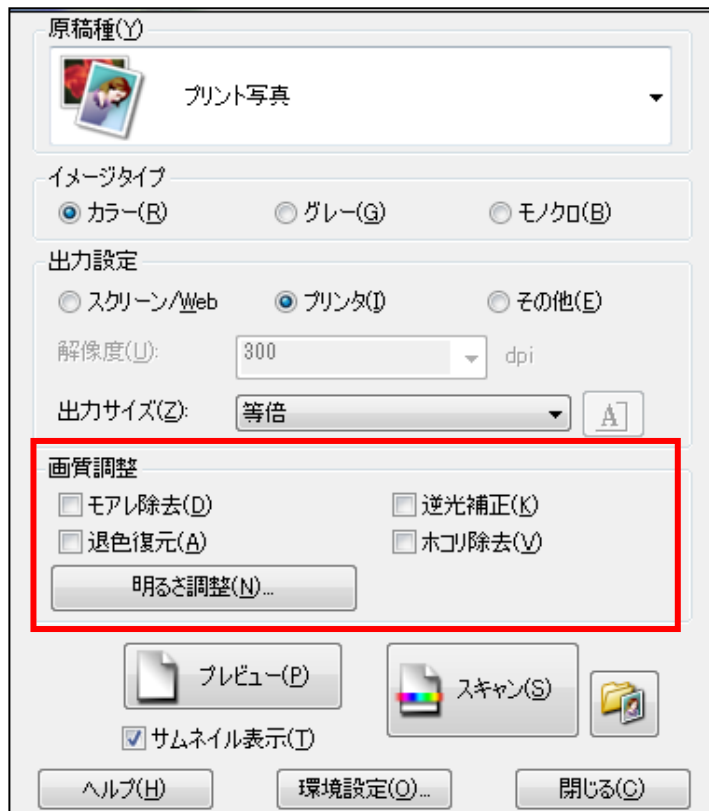


逆光以外の暗い写真や、コントラストの弱い写真に対し、補正を掛けます。プレビュー画面を確認しながら設定を行ってください。

【ご注意ください】

ホコリ除去以外は、元の写真情報を消してしまい、後から他のソフトなどで再編集しにくくなりますので、ここでは極力避けて頂き、後からホットアルバムで編集します。

スキヤナーの補正結果が気に入った場合や、お使いのホットアルバムに褐色補正する『きれいカメラ』機能が搭載されていない場合は、そのまま保存してください。

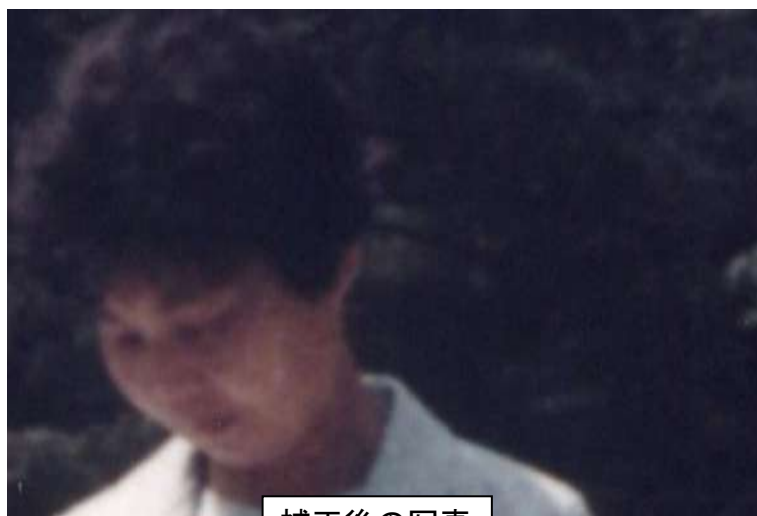


ホコリ除去: サンプル

この機能を使用すると、大きなゴミは削除できませんが細かいゴミは消えています。
ただし、ゴミを軽減させる為にボカシを入れますので、適用結果は少しボケてしまいます。



元の写真

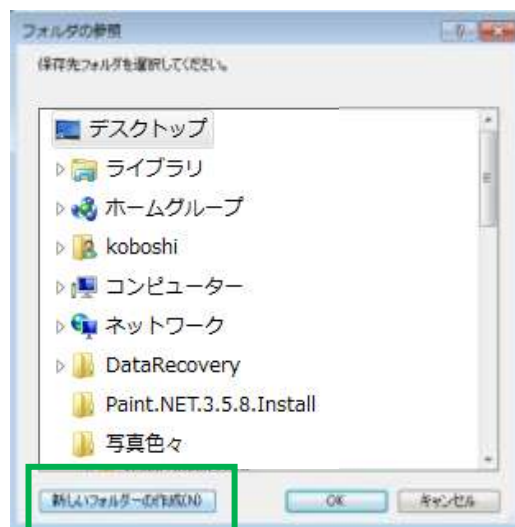
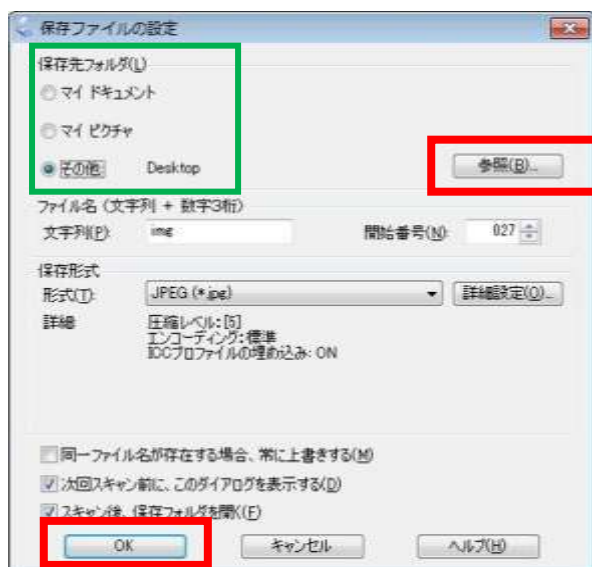
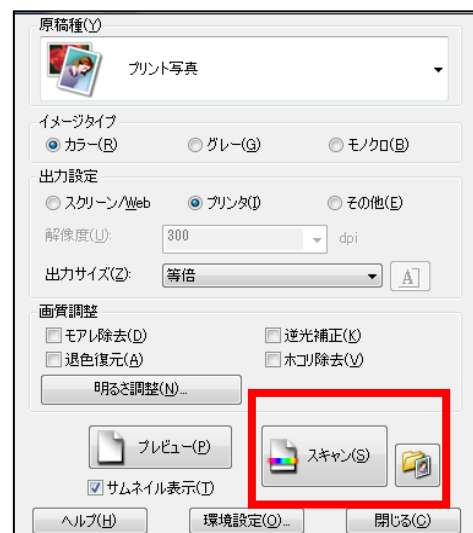


補正後の写真

⑥: 各設定が完了したら、写真を【スキャン】して保存します。

1: 【スキャン】ボタンを押すと、保存ファイルの設定画面が表示されます。最初にどこに保存するか場所を決めます。「マイドキュメント」「マイピクチャ」デスクトップなどの「その他」から選択します。

例えばデスクトップに新しいフォルダーを作成して、その中に保存したい場合は、「その他」にチェックを入れ【参照】ボタンを押します。
【新しいフォルダーの作成】ボタンで新規フォルダーを作成し、その中にスキャンした写真を入れる事も可能です。



2: 保存形式を指定します。

保存形式は殆どの場合、JPEG 形式か TIFF 形式、BMP 形式になります。

枚数が多い場合は、通常 JPEG で保存します。圧縮形式ですので、画像の劣化は避けられません。ですがL版を等倍以上の大きさに印刷しなければ、さほど劣化は目に見えてわかる範囲ではありません。

※保存形式に対し「詳細設定」などで更に圧縮率などを指定する事ができます。※ソフトにより若干違いがあります。圧縮を掛け過ぎると(圧縮率を上げる)データにギザギザのギャザーが出たり、ぼやけた画像になります。

「低(高圧縮率)」

「高(低圧縮率)」



形式	メリット	デメリット
JPEG 形式 (圧縮率は高～低まであります)	ファイルサイズが小さくなる。 画像を扱うソフトで利用できる。	劣化する。BMP を圧縮したのが JPEG
TIFF 形式	劣化しない。	ファイルサイズが重い。 対応ソフトが少ない。
BMP 形式	劣化しない。 扱う色数が多いので綺麗	圧縮をしないので、ファイルサイズが重い。

保存形式が決まったら【OK】ボタンを押してスキヤニングを開始します。

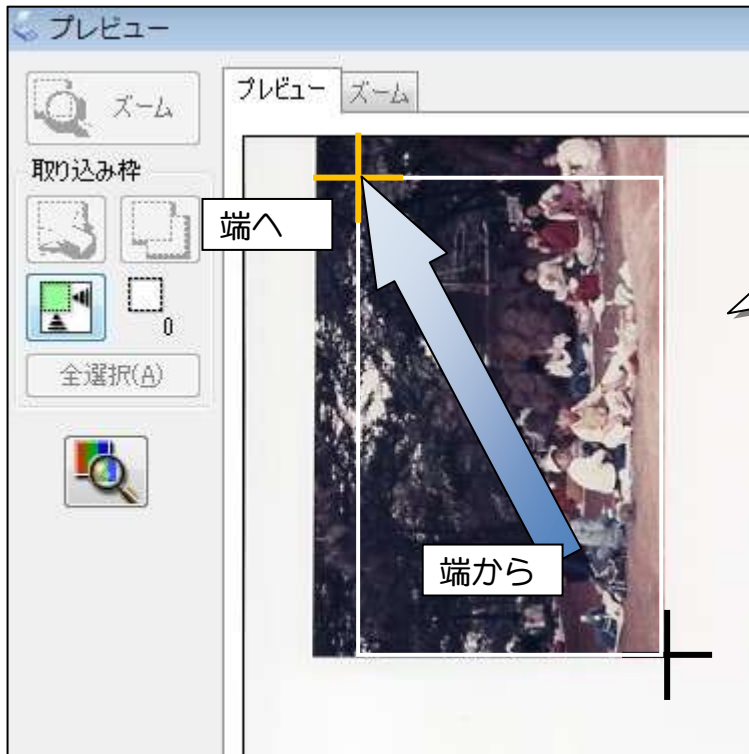
※指定した保存先にファイルが保存されていますので、ご確認ください。

●取り込み範囲を指定してスキャンする場合●

サムネイル表示がないスキャナーの場合などは、ご自身で写真を取り込むために写真自体の取り込み範囲の選択を行います。

マウスをドラッグしてスキャンする範囲を調整します。難しい場合は少し大きめに選択します。

※お使いのスキャナーによっては自動認識し、数枚並べても自動で取り込み選択する事も出来ます。

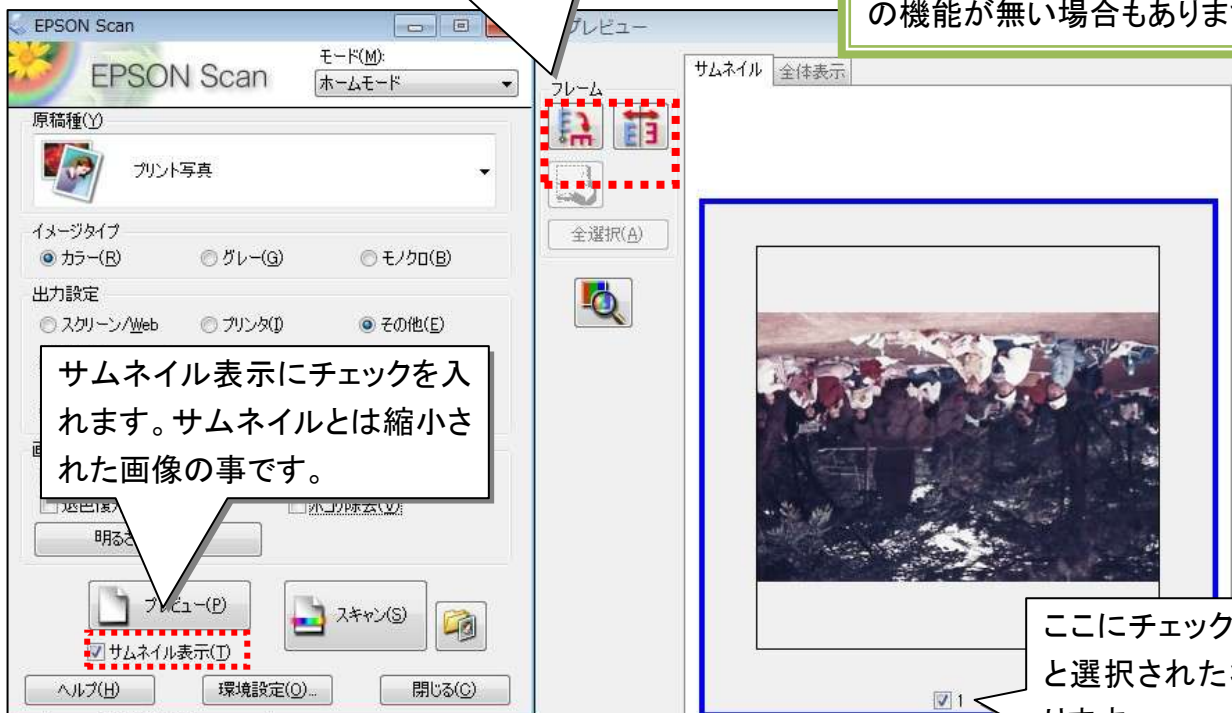


写真の端を選び左クリックします。クリックした指を離さずに囲い込むように反対側の端までマウスをそのままドラッグします。移動先まで来たら押し続けた指を離すと写真が選択されます。

同じ設定(解像度など)を適用し複数枚スキャンする際も、同じ要領で1枚取り込む範囲を選択し、そのまま次の2枚目も選択します。

写真の向きを変えます。このサンプル画像の状態では逆さになっていますので自分が見ている状態で正面を向く様に向きを変えます。

サムネイル表示にチェックを入れるとスキャナー側で自動的に写真を検出し取り込む事ができます。自動的に取り込むので自分で選択する必要はありませんが、機種によってはこの機能が無い場合もあります。



サムネイル表示にチェックを入れます。サムネイルとは縮小された画像の事です。

ここにチェックを入れると選択された状態になります。

●複数の写真を一度にスキャンする場合●



写真が複数枚ある場合、多くのスキャナーでは原稿台に写真同士を少し離して置き、プレビューボタンを押すと、違う写真と認識して個別で取り込む事ができます。(写真同士が近すぎますと1枚として誤認識する事もあります)

■個別認識ができない場合



複数枚ある写真を一度に選択します。

写真の端を選び左クリックします。
クリックした指を離さずに囲い込むように反対側の端までマウスをそのままドラッグします。移動先まで来たら押し続けた指を離すと写真が選択されます。

選択範囲を作る際は大きめにしてください。

後から写真を1枚1枚離す作業をしますので、高解像度で取り込みます。

【出力設定】の解像度は400dpi~で設定し、保存時の形式はTIFF形式、BMP形式またはJPEG形式の低圧縮で保存します。ただし、TIFF形式、BMP形式は容量が重くなりますので、後でトリミングや加工を必要とするケースが多くある場合は、JPEG保存にしてください。
上記の2L判2枚を一度にスキャンした際にJPEG保存すると、以下の様な容量となります。

解像度	JPEG 圧縮率	容量
400dpi	圧縮レベル 5	約 2.51 MB
400dpi	圧縮レベル 10	約 1.48 KB
500dpi	圧縮レベル 5	約 3.47 MB
500dpi	圧縮レベル 10	約 2.07 MB
600dpi	圧縮レベル 5	約 5.98 MB

※サイズは解像度によって変わります。

トリミングをWindows標準「ペイント」ソフトを使用する場合(JPEG保存する場合)圧縮率の指定ができませんので最初にスキャンする時に、大きめのサイズのきれいな画像で保存してください。



●スキャニングした画像をトリミングする●

複数枚ある写真を一度に取り込んだ場合は、1枚1枚切り離して1枚の画像として保存する必要があります。

トリミングをするには、トリミング機能のあるソフトが必要です。簡単に扱えるフリーソフトなども沢山ありますが、ここでは Windows 付属のソフト「ペイント」を使って写真のトリミングを行きましょう。

※Windows フォトギャラリーでもトリミング及びスキャニングは可能ですが、お使いの OS によって異なります。



「ペイント」ソフト

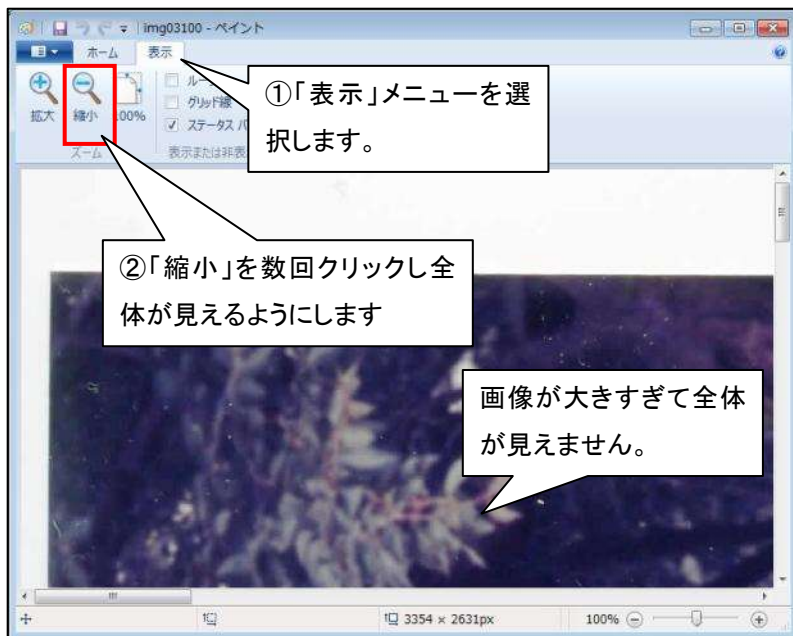
1) 保存した写真を右クリックで「プログラムから開く」を選択し、一覧の中から「ペイント」を選びます。

2) ペイントで写真が開くと初期設定では、全体の100%表示になっています。この状態ですと、画像サイズの大きい場合一部しか見えませんのでメニュータブから「表示」→「縮小」を選び、全体が見られる丁度良

い大きさになるまでクリックします。

3) 次に「表示」メニューから「ルーラー」にチェックを入れトリミングしやすくします。


●「ルーラー」とは文字や画像の位置を調節するためにある、ウィンドウ上部や左側にある目盛りのこと。日本語でいう「定規」です。



4) 次にトリミングする範囲を決めます。メニュータブの「ホーム」を選び、「選択」ボタンを押します。

「選択」ボタンの下の▼を押すと、どの形で選択するかを選べます。ここでは【四角形選択】を選択します。



5) マウскарソルが  になりますので、写真をドラッグ & ドロップで選択します。

※選択する際の、ドラッグ & ドロップ要領は前頁と同じ要領です。

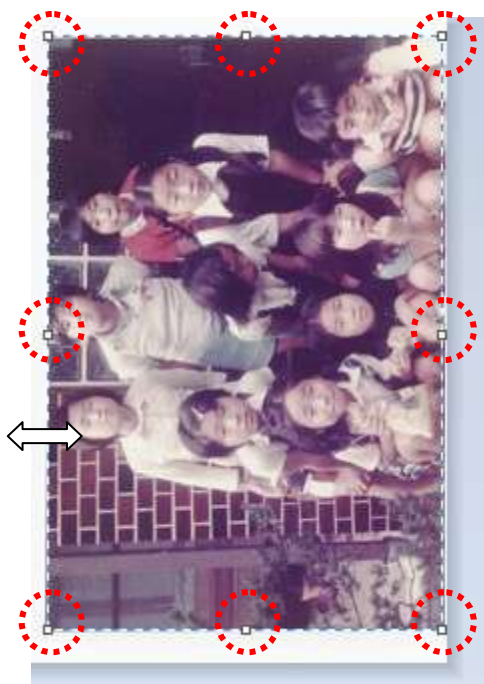
6) ドラッグ & ドロップで選択すると下の画面の様になります。点線で写真が囲われています。

やり直しで解除したい場合は、「選択」ボタンをクリックしますと解除されます。

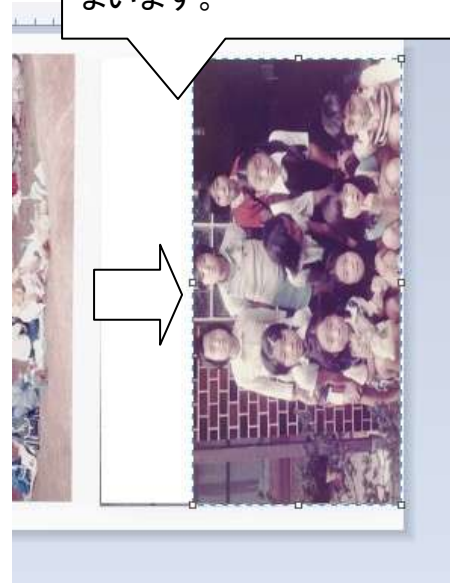
ご注意ください：

赤丸で囲まれた部分(バウンディングボックス)にマウスカursorを当てると、カーソルが↔マークになります。

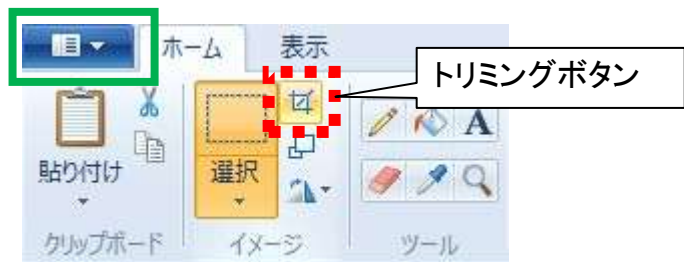
変更した箇所の赤丸で囲まれた部分に、マウスを近づけ↔マークになった状態でクリックします。そのまま矢印の方向にマウスを移動しますと写真自体のサイズが変更され比率が変わってしまいます。




写真の比率が変わってしまいます。

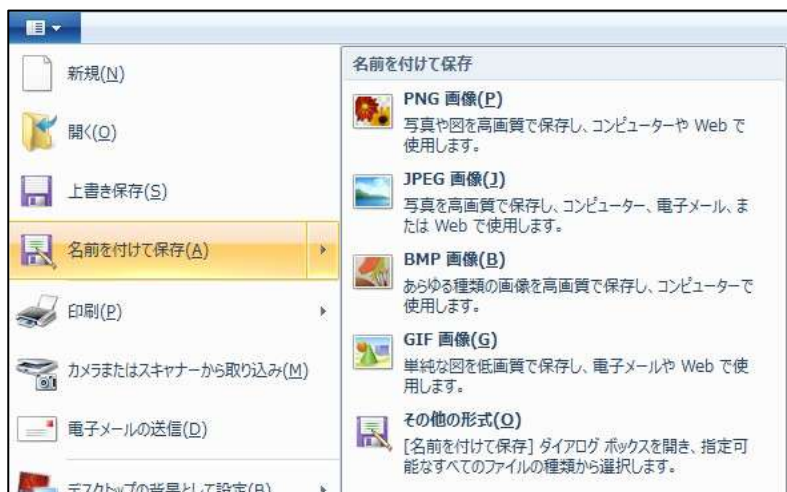


7) 写真が選択出来たら、「トリミング」ボタンを押します。



8) トリミングされますので(画像参照)画像を保存します。

7)の画像にある  緑色の枠線で囲まれたアイコンをクリックします。「名前を付けて保存」を選択します。



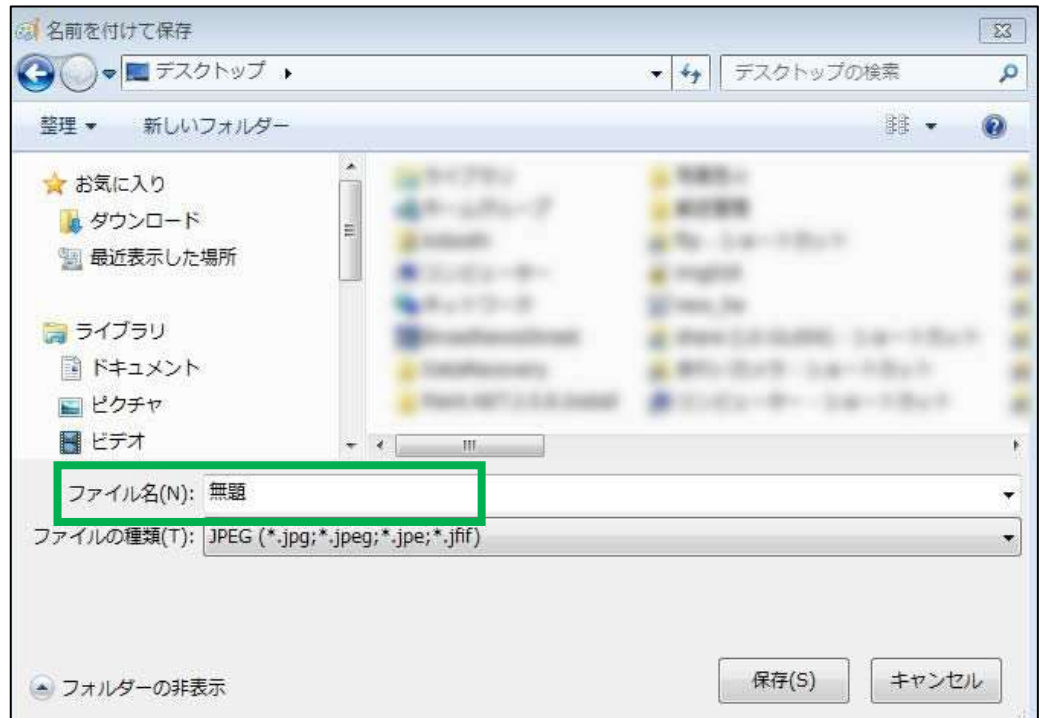
保存形式は、沢山の写真を管理する上では BMP 形式ですと画像容量が重くなりますので、JPEG 形式で管理します。ただし、【ペイント】で JPEG 保存をする場合圧縮率が変更できません。

8) 保存形式を選択し、保存する場所を選択します。

後でホットアルバムに簡単に取り込み出来る様に、トリミングした写真が複数ある場合は、任意の場所に新しいフォルダーを作成し、その中に保存すると管理、保管に便利です。

ファイル名に日本語を使用するのは、極力避けて頂き英数字します。

※フォルダーは日本語でも問題ありません。



例えば、『昔の写真』と言うフォルダーをマイドキュメントに作成し、スキャニング、トリミングした写真を全てそこに保存します。

ファイル名は、ご自身の分かる名前と番号を振ります。(例:kazoku01、kazoku02…と言った具合に識別番号を振っておきます)

保存した写真をホットアルバムに取り込み、「きれいカメラ」で色補正しアルバムを作成しましょう。

写真の取り込み方法は【2_1 写真を取り込みましょう】を、きれいカメラの補正の方法は【6_拡張機能のご紹介】をご参照ください。

懐かしい思い出の音楽を付けて自分史作りにチャレンジしましょう！

